

# 資料編

## 1 東近江市の現状

### ①東近江市の人口

東近江市の人口は、平成27年国勢調査で、総人口114,180人となっており、平成17年の116,797人をピークに減少に転じています。一方、世帯数は、増加傾向にあり、単身世帯及び核家族世帯が増えています。

今後の東近江市の人口は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」によると、人口減少が続き、2040年には96,792人になると見込まれていますが、平成27年度に策定した東近江市人口ビジョンの中で、様々な取組を行うことによって、将来目標人口を、2040年に10万人、2060年には9万人としています。

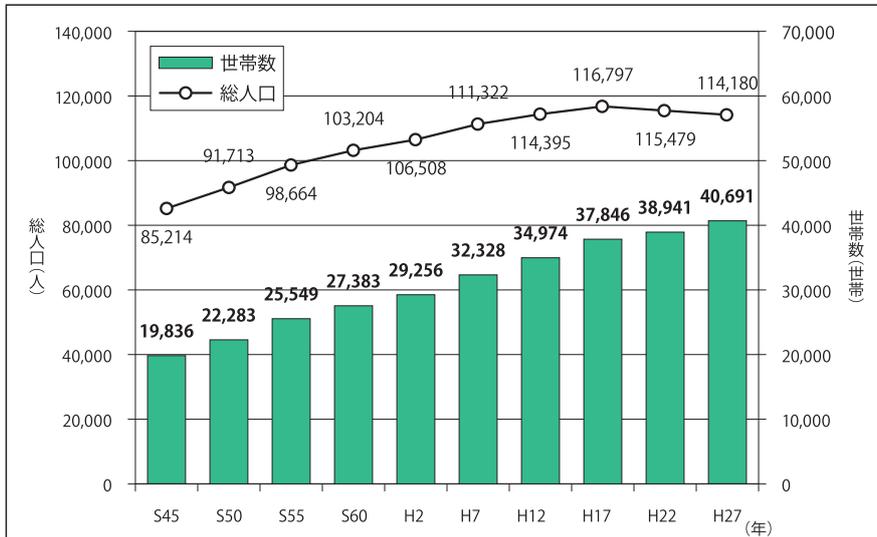


図 東近江市の総人口・世帯数の推移

【出典】 各年国勢調査

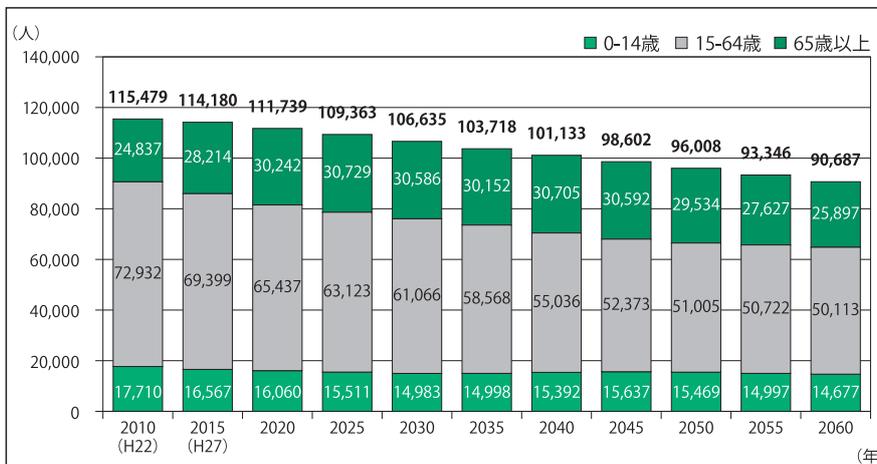


図 東近江市の将来推計人口

【出典】 東近江市人口ビジョン

年齢階層別人口をみると、団塊の世代の人口が多く、今後、ますます高齢化が進むと考えられます。また、30～40歳代の人口が比較的多くなっています。

経年変化をみると、平成17年から平成22年までにかけて、30～40歳代の減少が大きく、リーマンショック等の影響で若い世代の転出が多くなったと考えられます。

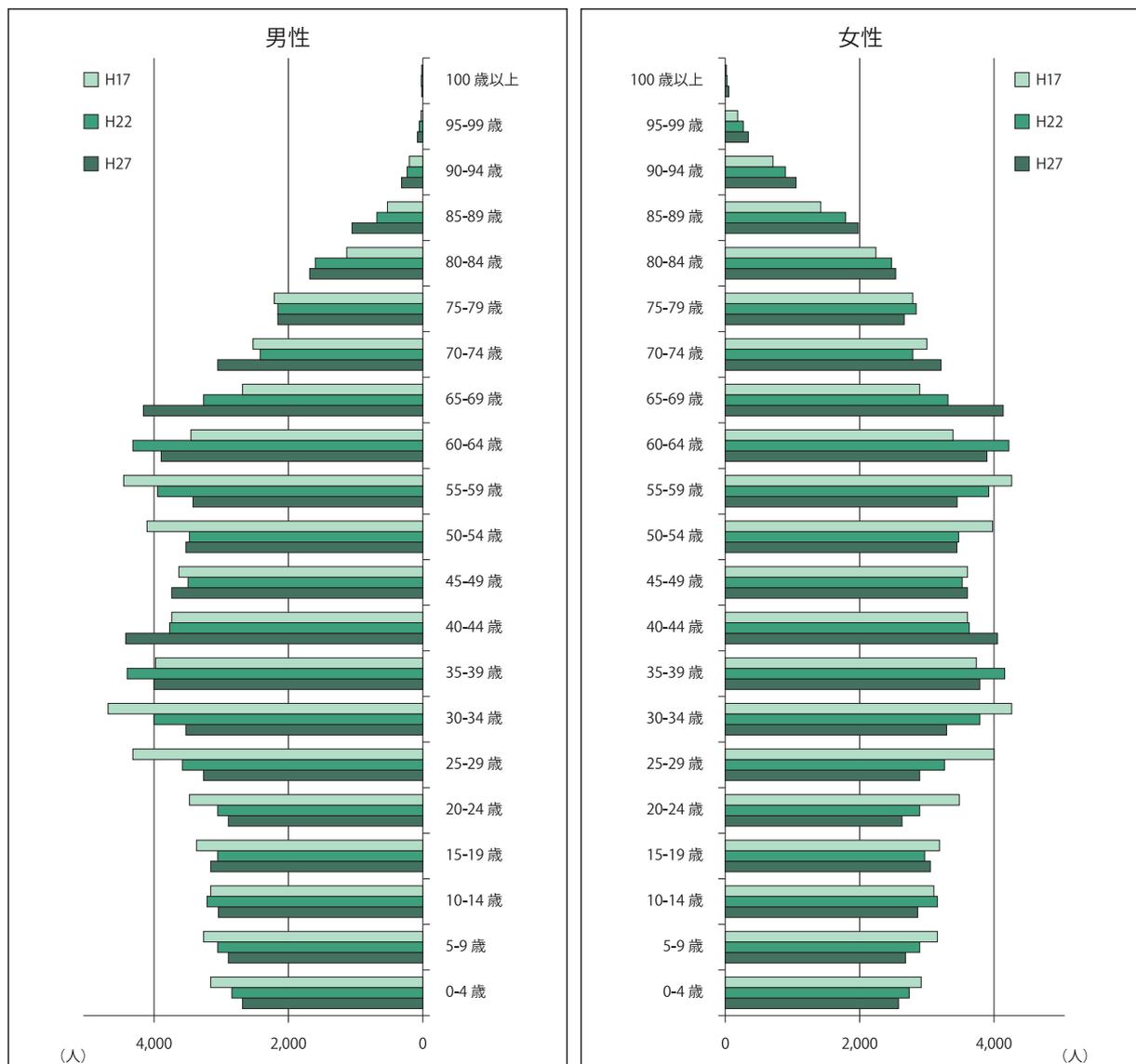


図 東近江市の年齢階層別人口の推移

【出典】平成17、22、27年国勢調査

## ②東近江市の高齢化率と高齢者世帯の推移

東近江市の高齢化率は、年々上昇し、平成27年で24.6%になっており、超高齢社会（高齢化率21%以上）に突入している。

高齢者世帯についてみると、高齢単身世帯も高齢者夫婦のみ世帯も年々増加しており、全世帯数に対する高齢者のみ世帯の割合は、平成27年で19.4%になっている。

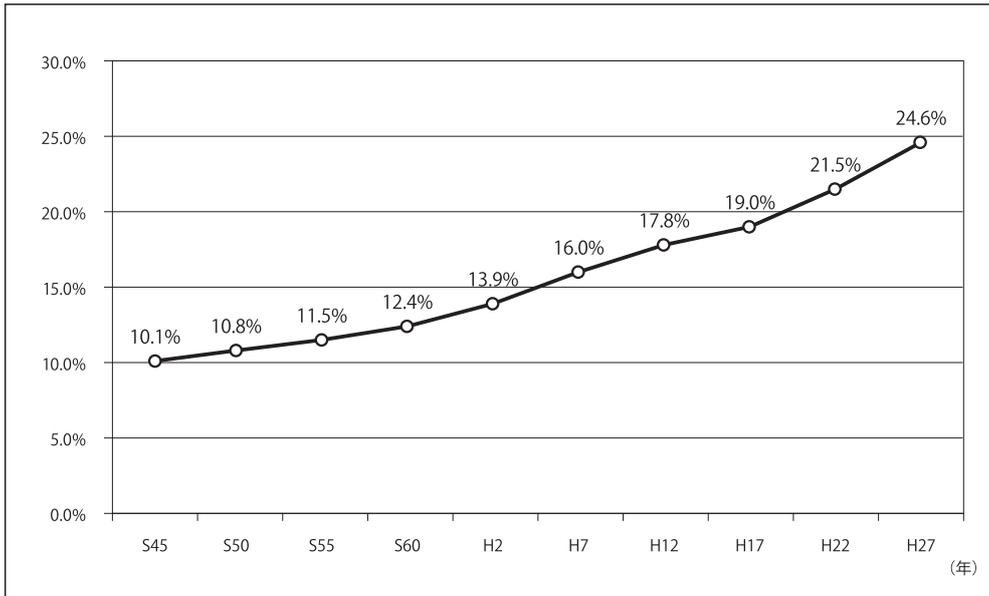


図 東近江市の高齢化率の推移

【出典】 各年国勢調査

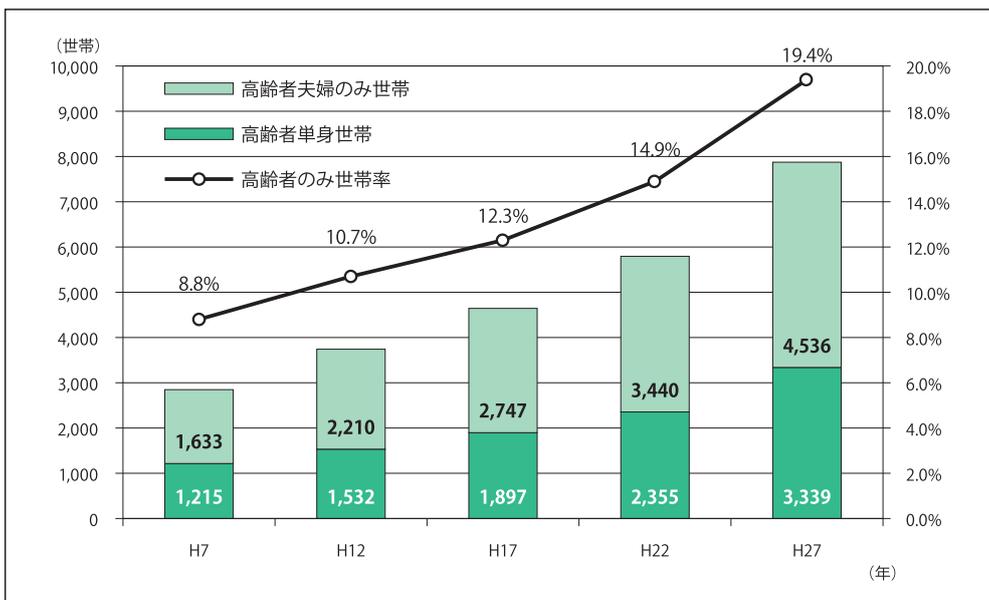


図 東近江市の高齢者世帯数の推移

【出典】 各年国勢調査

### ③要介護認定者と認知症高齢者の状況

要介護認定者は年齢が高くなるとともに増加し、認定率が高くなります。認定率は75歳以上で10%を超え、85歳以上では、ほぼ高齢者の半数が要介護認定者です。

2015年以降、認定者数は増え続け、認定率も上昇傾向で推移します。その後の急激な高齢化に伴い、2025年には認定者数は約6,000人、認定率は19%に達すると見込まれます。

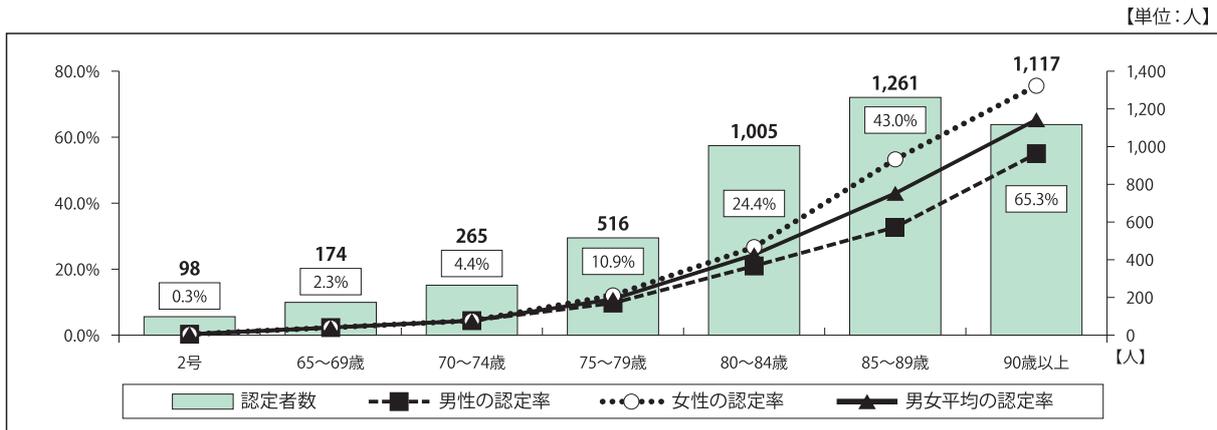


図 年齢別の認定者数と認定率

【出典】介護保険事業状況報告（2014年10月1日時点）

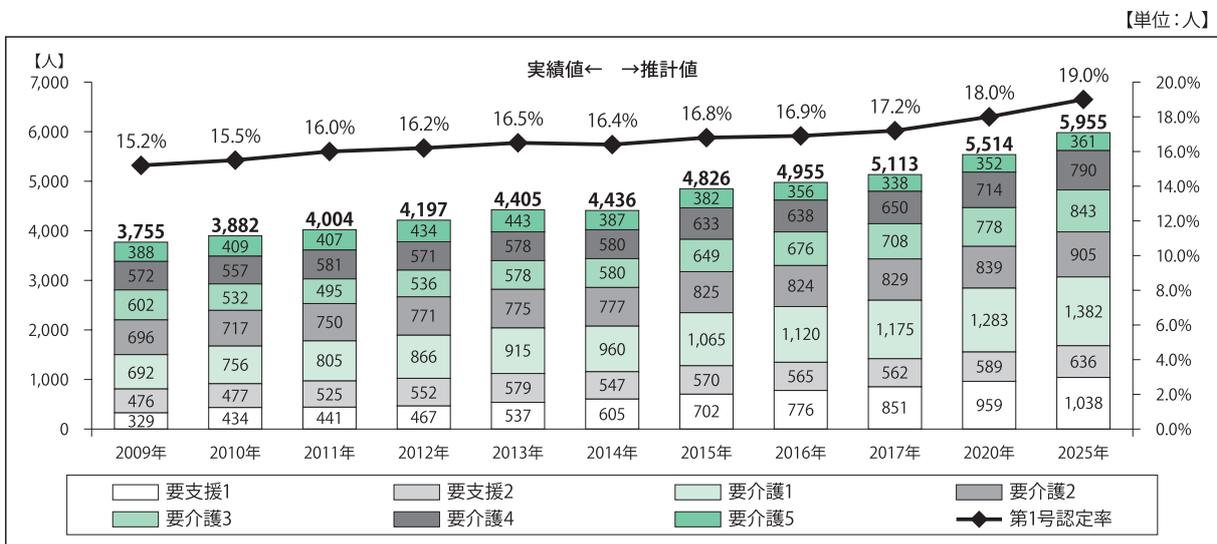


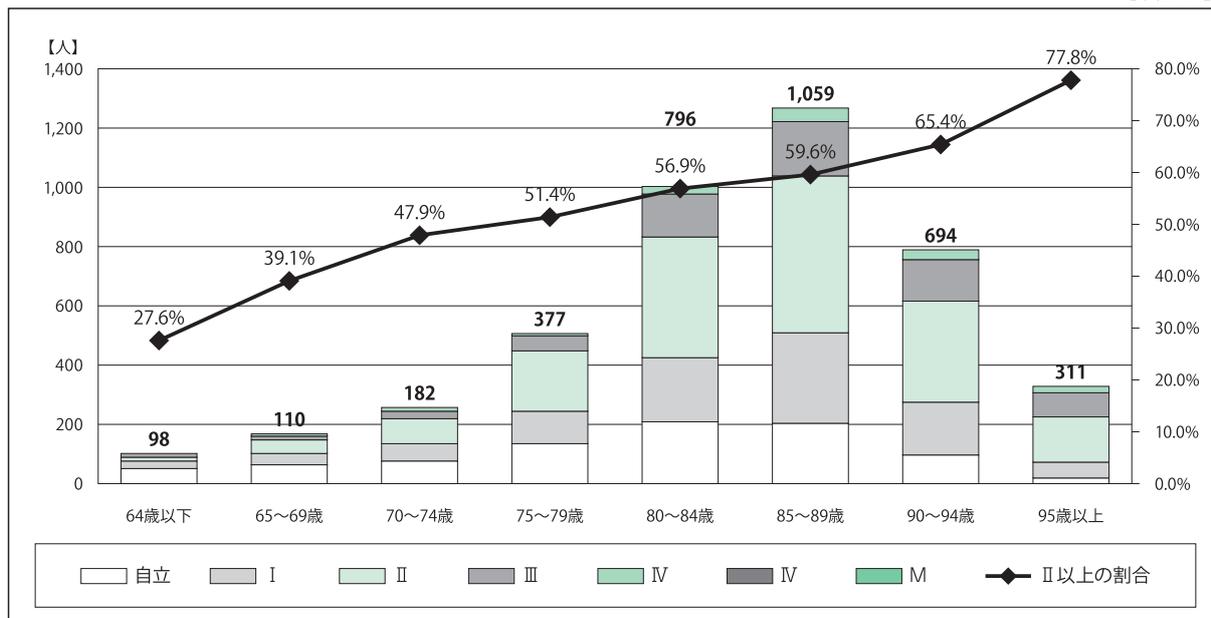
図 認定者数と認定率の実績と推計

【出典】介護保険事業状況報告（2014年10月1日時点）、2015年～2025年は推計値

要介護認定者における認知症の状況は、自立度Ⅱ（日常生活に支障を来すような症状・行動や意思の疎通の困難さが多少見られても、注意すれば自立できる状態）以上の割合は75～79歳で51.4%と要介護認定者の半数を超えています。80～84歳で56.9%、85～89歳で59.6%と、年齢が高くなるほど認知症は発症率も高くなる傾向にあります。

- 自立度Ⅰ…何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している
- 自立度Ⅱ…日常生活に支障を来すような症状・行動や意思の疎通の困難さが多少見られても、注意すれば自立できる
- 自立度Ⅲ…日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ介護が必要
- 自立度Ⅳ…日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護が必要
- 自立度M…著しい精神症状や周辺症状、あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療が必要

【単位：人】



※要介護認定者数、認知症自立度別の数は2014年10月1日現在

図 要介護認定者の認知症自立度とⅡ以上の割合

【出典】東近江市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）

#### ④合計特殊出生率の推移

1人の女性が生涯に出産する子どもの人数とされる「合計特殊出生率」の推移を見ると、東近江市は、全国、滋賀県の値をともに上回っており、1.66（平成20年（2008年）～24年（2012年）のベイズ推定値<sup>※1</sup>）となっています。

合計特殊出生率は人口の増減に大きく影響し、将来にわたって人口が増加も減少もせず、世代間の人口が均衡する数値は2.07とされます。この合計特殊出生率を算出する際の「15歳～49歳までの女性」の人口減少が数値の低下の要因になっており、若い世代の人口増加が重要となります。

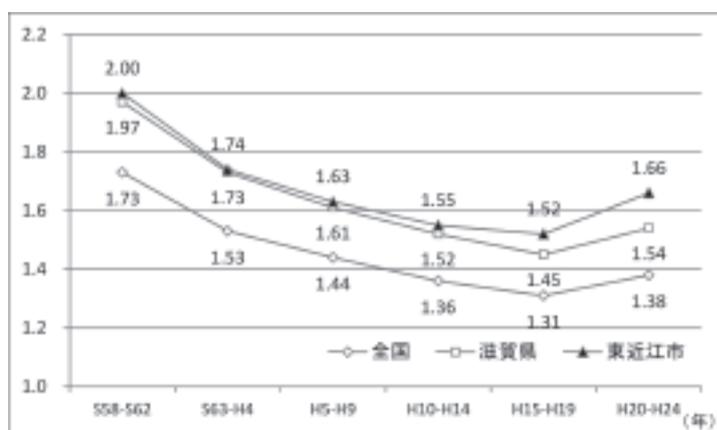


図 合計特殊出生率の推移

【出典】人口動態統計特殊報告「人口動態保健所・市区町村別統計」

#### 単年度の合計特殊出生率

	国	滋賀県	東近江市
H17	1.26	1.39	1.40
H18	1.32	1.40	1.42
H19	1.34	1.43	1.46
H20	1.37	1.45	1.55
H21	1.37	1.44	1.53
H22	1.39	1.56	1.61
H23	1.39	1.53	1.61
H24	1.41	1.53	1.68
H25	1.43	1.53	1.62
H26	1.42	1.53	未確定

※1 ベイズ推定値

市区町村別の合計特殊出生率は、標本数が少なく、偶然性の影響で数値が不安定な場合があり、当該自治体だけでなく二次医療圏等の複数年のデータを総合化して推定した値

【出典】東近江市子ども・子育て支援事業計画

## ⑤児童数の動向

本市の18歳未満の児童数の動向は、年々減少傾向にあり、平成25年では21,280人となっています。内訳は0～5歳6,772人、6～11歳6,990人、12～17歳7,518人となっています。また、今後の推計値でも減少傾向は続くと予測されています。

### 児童数の動向

(単位：人)

	実績					推計	
	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
0～5歳	6,904	6,824	6,778	6,855	6,772	6,676	6,505
6～11歳	7,676	7,461	7,356	7,086	6,990	6,791	6,712
12～17歳	7,491	7,486	7,494	7,588	7,518	7,529	6,912
合計	22,071	21,771	21,628	21,529	21,280	20,996	20,129

資料：住民基本台帳（外国籍人口を含む）4月1日現在

【出典】東近江市子ども・子育て支援事業計画

## ⑥障害者手帳保持者の数

障害者手帳保持者の数は、いずれの種別の手帳も、年々増加傾向となっています。総人口が減少する中で、人口に占める手帳保持者の割合も増加しています。

(単位：人)

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
総人口	118,184	117,399	117,364	117,127	116,603	115,758	115,203
身体障害者手帳	4,281	4,336	4,394	4,402	4,386	4,439	4,494
療育手帳	841	887	919	963	979	1,020	1,091
精神障害者保健福祉手帳	361	410	468	523	554	535	582
手帳保持者数	5,483	5,633	5,781	5,888	5,919	5,994	6,167
人口に占める手帳保持者	4.64%	4.80%	4.93%	5.03%	5.08%	5.18%	5.35%

資料：障害福祉課調べ（人口は各年4月1日現在、障害者手帳保持者は各年度3月末日）

## ⑦発達障害者（児）の状況

発達障害者（児）の場合、手帳制度がないため、人数把握は難しい状況にあります。発達障害者（児）の中には、必要に応じて、知的障害を伴う場合は療育手帳、知的障害を伴わない場合は精神障害者保健福祉手帳を取得されている人がおられます。

最近の傾向としては、乳幼児健診や園への巡回訪問等により、就学前にその傾向があることを保護者と関係機関が情報を共有することが増えてきています。それに伴い、医療機関を受診されるケース（※）、就学先として通常学級以外に自閉症・情緒障害特別支援学級を選択されるケースや、通常学級に在籍して通級指導教室（※）を併せて利用するケースも増えていきます。

また、特性を理解した対応が難しい場合、二次的障害を生じ、環境調整だけでなく医療機関による内服加療が必要となっている学齢期の子どもたちのケースも増えており、対応できる医療機関の不足が課題となっています。

精神障害者保健福祉手帳の取得に関しては、就労について考えていく時期になり、障害特性に応じた配慮を福祉サービスとして求める際に検討されるケースが増えているのが現状です。

#### 特別支援学級（知的障害、自閉・情緒障害）への就学状況及び通級指導教室利用状況

(単位：人)

区 分	平成24年	平成25年	平成26年
特別支援学級（知的障害）	101	111	132
特別支援学級（自閉症・情緒障害）	75	87	90
通級指導教室	157	176	177

【出典】東近江市子ども・子育て支援事業計画

※本県では、自閉症・情緒障害の診断を受けていたり、その特性があっても、知的障害があれば知的障害の特別支援学級に在籍することとなっています。

### ⑧障害者の就労状況

東近江圏域の職業安定所に登録している障害のある人の就労状況をみると2,106人で、そのうち就業中は1,058人となっています。また、就業中の内訳は、身体障害者550人、知的障害者373人、精神障害者113人などとなっています。

#### 就労登録者の状況

(単位：人)

区 分	就業中	求職中	保留中	登録者
身体障害者	550	92	520	1,162
知的障害者	373	12	174	559
精神障害者	113	68	159	340
その他の障害（※1）	22	14	9	45
合 計	1,058	186	862	2,106

#### 求職及び就職状況

(単位：人)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
新規求職申込件数	199	288	340	374	341
就職件数	74	102	126	142	167

(※1) その他の障害者：発達障害者、高次脳機能障害者（※）、難病者等

【出典】東近江市障害者計画